



保母のよろこび

及川 ふみ

幼児が数人コスモスの花瓶をか
こんで寫生に餘念ない傍で、新聞
の皇太子殿下の御可愛らしい御寫

眞を切りぬいて、保育室へ飾らう
ミラシヤ紙の臺紙なごきり出して
ゐるに、「先生御早う御座います、

これマサヲオヂチャンからお手
紙」ごさし出し「ゆうべお家へもつ
ていらしたの」ごつとけさまに云
ひのこして池の組の久仁子さんが
出ていつてしまつた。

あゝあのマサヲさんからの手
紙、一きに讀み終つた。

拜啓

秋風心地よい頃になりました大變長い事御無沙汰致しま
したが先生には益々御壯健の御事お慶び申し上げます。

小さき我等に良き事を
おしへ給ひし師のめぐみ

ながくごほく忘るまじ
大きくなりて後までも

幼稚園時代からすでに十五年以上もの歲月は流れ去りま
した然しまだにはつきり断片的思ひ出にてんてつさ
れた幼稚園の事が思ひ出されます。

「叔父さん スキップ 知つてゐる 久仁子、教へて
上げませう」。

と言ひながらそれからそれへ幼稚園でおぼへた事をや
つて見せる 久仁子を見る時

小學校四年の時の震災に焼かれる迄可
成育つた事

「おさんぼう」をつくり鯉のぼりの下で
いたゞいたお菓子忘れられず毎年五
月節句は幼稚園に遊びにいつた事。

小學校、中學校、高等學校もすぎ大學も
早終りに近づいた頃ながい御無沙汰に
遂に高くなつた鬮を久仁子がまた先生
に御厄介さなる頃さなりよく先生の
噂を伺ふ様になりあへて高い鬮をのり
こへて取りさめのない手紙を差上げる
次第で御座います幼稚園時代のみの親
友小野金雄君に先日お會ひ致した時先
生のお話をし合つた事でした。



毎日水道橋から御茶の水まで母に送られて、かよつた頃
の事

又藤棚の實を先生がおこして下さる時我先にこ取合つた
丸いうすべつたい藤の種をもちかへつてまいた種が僕の

小關、相京、木下、その他の人々とは小學校を一緒にし
たゞめに何度か會ふ機會が御座いましたが小野君は學習
院にゆかれたゞめ一度も音信致しませんでしたが大
學で一緒になり長い以前の回顧にふけりました。

その他大きな講堂でピアノに合せておぼへた歌、遊戯など今でもまづい聲のため歌つた事はありませんがいくつか忘れ得ずに残っております。

ボンボンボン　ボンボンボン

ピアノはボンボンボン

手をたゞき歌へ　聲高く歌へ

ボンボンボン　ボンボンボン

ピアノがボンボンボン

いつか小野君をお透ひして一度先生をおたづね致したい
ご存じております

先は御からだ御大切に

敬具

いつも秋風、小寒く吹くやうになるミ羽二重友禪のちやんちやんこを着て眼をくりくりさせて幼稚園で遊んでゐたマサチさんの姿を十数年の昔にも思へずはつきりと思ひ浮んでくる。學校出のほや／＼の新米保母にまつてはマサチさんはよき助手であり指導者でもあつた、小學校の間は一つ學校であつた、ゆめ元氣なマサチさんを見る事も度々あつたが中學生時代の姿は一度位見受けたやうに覺えてゐる日

本青年會館の音樂會で高等學校の制服のマサチさんを見て自分からマサチさんではありませんか、たづねた事もあつた。それから早や數年、今はこの手紙によつて來年は東大工科を卒業する事がわかつた。しかも友人小野君であるのもその時の同じ組のカネチさんである。秋の一夕二人の大學生ミ昔がたりをかはしたいものである。

「愛育讀本」が發行せられました。その凡例をこゝに引用いたしまして廣く皆様におすゝめ致します。

「本書は恩賜財團愛育會が、同會愛育調査會委員倉橋惣三、齋藤潔、青木誠四郎の三氏に委嘱して教育、醫學、心理の三方面から、初めて母になられる方、或は既に母になられた方達の爲に、その座右にあつて、愛育のよりよき伴侶となり、指導書となるやうに編著して戴いたものです。幸ひこれによつて健全な愛育の道をおたどりになることを祈ります。」